

管理部の評価

平成18年7月25日

- 学校安全点検要項に基づき、毎月1回の安全点検をきめ細やかな目でしっかりと実施した。そのことにより、児童の命を守ることを第一に考える姿勢が全教職員に一層培われてきたようだ。
- 管理部点検も校長・教頭・教務・主査・用務員の5人で行い、先の安全点検で出たことはもちろん、新たな目で見ることによって二重の点検を行った。そのことにより、早期の対策を立てることができ、校舎内外の環境整備が着実に進むとともに、学校生活における危険回避につながったと考える。
- 学校集金に関して、今年度は昨年度の反省を生かし、年度当初より全校体制で行ってきた結果、滞納する家庭が激減した。学校の構え方次第で解決策がみえてきた典型的な例でなかろうか。ご協力に感謝している。
- 不審者対策については、学校内では避難訓練や学級活動における指導も実施しているが、校舎の解放箇所が多いので、今後さらなる検討を加えなければならない。地域においては、見守り隊や防犯協会の方々の協力の下、登下校時の安全が確保され、感謝している。
- 節電・節水に関して、さらなるご協力をお願いしたい。

平成18年度1学期

学校評価（学習指導部）

平成18年7月

○ 成果

- ・ 南部タイムブロック発表会、音読に工夫があったり、保護者も大勢聞いてくれたり、どの学級も児童のがんばりが見えた。
- ・ 環境教育では、計画的にピオトープを各学年で活用している。

● 課題

- ・ 図書館のデータベース化の活用を指導する。
（読書量の変容や読書の傾向を把握していく。）
- ・ 定められた場所に掲示することを、児童にも指導していく。

生徒指導部の評価

H18. 7. 25

- 必要に応じて教育相談委員会を開き、即時対応に努め、組織とし取り組むことができた。関係機関とも連携を取りながら対応した。
- 安全に対する子どもたちの意識は高まっている。校内生活における危険な行動は減っている。子どもたちと共に安全指導を行ったこと、各学年・学級での安全指導の効果が表れているのではないか。
- あいさつはよくなりつつある。まだまだの子もいるが地区の方からも以前よりよくなっているという声が聞かれる。

- 校内生活では後片付け（特に、ボール・一輪車）、校外生活では自転車乗りが課題である。後片付けについては2学期に強化週間を設けたりして取り組みたい。また、児童会ともタイアップして取り組みたい。自転車乗りについてはPTA常任委員会でも話題になった（県道は乗らないこと）ようだが、家庭と連携して事故防止に努めたい。学校行事かPTA学年行事として位置づけることも検討すべきか。

健康指導部の評価

平成18年7月

○保健指導(健康診断 生活リズムづくり提案)が計画通りにできた。

○清掃指導では、今年度からその掃除場所にある用具、雑巾を使うことにしたため、時間いっぱい作業にとりかかれるようになった。

○運動の日常化をはかるためにカードを使わせたが、意欲的にとりくむ姿がみられるようになった。

●清掃指導と運動の日常化に対する評価が低かった。そこで、清掃指導では班長に掃除のし方などを習得させ、下級生にも伝えられるように指導していく。

運動の日常化を図るため、担任の協力のもとで、月に1回子どもの様子を見守ったり指導助言をすることを実施したい。